

令和5年度 第1回酒田市ボランティア・公益活動推進委員会 会議録

日 時：令和5年4月24日（水）14：00～14：50

場 所：酒田市地域福祉センター 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

会長

3 報告事項

(1) 令和4年度事業報告について

事務局より、資料に基づき報告。

(質問・意見等)

委 員：相談件数について。令和3年度の合計725件に比べ、令和4年度の合計は489件と少ないが、何か原因があるのかどうか。

事務局：相談件数が大幅に減少しており、令和3年度と令和4年度の相談内容を比較したところ、令和3年5月は夏のボランティア体験、9月は障がい者アート作品展の相談や問合せ、11月と12月はブックレットの内容変更や事業の周知依頼が多く、1月以降も事業についての相談や問合せが令和4年度より多く寄せられている。

事務局：個人的に思うことは、令和4年度当初、職員が1名減、欠員のままスタートし、採用されてもなかなか定着しなかったこと、職員が交代すると相談窓口としては少し力が落ちるというところで、件数として拾いきれなかったかなという印象。細かい分析まではできていないが、そこが大きな要因ではないかなと考えている。

委 員：3月4日公益活動支援制度説明会について。参加者は8名だが、団体数は何団体だったのか、また、公益活動支援補助金の申請団体が3団体ということで、新しい方の参加が多かったのか、継続的な方の参加が多かったのか。

事務局：どの団体が参加したのか、細かいリストまでは持ち合わせておらず申し訳ないが、これまで補助金を利用した方も新規の方も参加した。これまで活動し

ていたが、コロナの影響等で活動できず、また新しく団体をつくり申請しようという話もあった。制度の説明後、質疑応答の時間を設け、終了後もざっくばらんに質問を受け付けた。その後も個別で相談を受け付け、申請しようと考えている様子を見て取れたが、結果的に申請自体は少なくなってしまった。また、説明会に参加できなかった団体で、市担当課から協働提案負担金を利用できればという相談があり、補助金ではなく、負担金に切り替えたのではないかと受け止めている。

委員：ボランティア・市民活動交流会について。今回私も参加させてもらったが、大変楽しい会で、これまで3～4年に1回位参加している。今年はコロナ明けの影響か、午前中だけのタイトな時間だったように思う。最初の1時間は団体等の活動紹介、もう1時間はテーブル内での交流。別のテーブルの方々と交流を、とお声がけがあったが、なかなか大変でもったいなかったなど。半日で開催するなら午後1時頃～4時、4時半頃までにすれば、もうひとつ何かできるなど。テーブル同士の交流、その後に気になった方々との交流もできる。以前はできたと思うが、コロナを意識して縮小したのかなと思う。ぜひ、次回はそのような時間もとれるように検討いただきたい。今日この後に補助金の審査会があるが、交流会の中で補助金を活用した活動内容を紹介するのも重要だと思う。ボランティア・公益活動団体から知ってもらう機会、認識してもらう機会となり、自分たちもチャンスがあれば申請するというきっかけにもなると思う。初の試みだと思うが、全団体でなくても、一部でも活動紹介していただくとありがたい。そうすると、午前中の短い時間だけでは厳しいなど。いろいろなテーマを掲げて対応していただきたい。大変楽しい会なので、今後も続けてほしいと思う。

事務局：参加していただき、また、ご意見等もいただき大変ありがたい。開催時間については、これまで2時間、2時間半、3時間と検討しながら行ってきたが、3時間にした際、参加者から長いなというご意見をいただいたことがある。今回はコロナの影響や3年ぶりということもあり、まずは2時間での開催にさせていただいた。次回に向けて、開催時間や内容等を検討し、皆さまに喜んでいただけるような交流会にしていきたいと思う。

会長：コロナが明けたら、椅子に座るのではなく、最初から自由に交流をするのもいいと思う。補助金を活用した活動内容の紹介について、ご提案いただきありがたい。

(2) 公益活動推進アクションプランの完成について
事務局より、資料に基づき報告。

(質問・意見等)

委員：目標を数字で出したということはすばらしいと思う。数字は正直で、ごまかせない。段階的に上がっていくということがなければ、どこかやり方がおかしいということになると思う。アクションプランを作成して終わりではないことは、当然皆さんわかっているわけだが、市民全体にかかっていることであり、まだまだ内容的に攻めていかなければならないと思う。

事務局：毎年、達成状況を確認し、市関係課にも照会して事業の進め方を見ながら、確実に進めていけるように取り組んでいきたいと思う。

4 協議事項

(1) 令和5年度事業計画(案)について
事務局より、資料に基づき報告。

(質問・意見等)

委員：計画そのものではなく、ボランティアコーディネーション力3級検定について。酒田市内で何人位取得しているのか。2級や1級を取得している人もいるのか、内容についても教えてほしい。

事務局：私も昨年度受験して取得したが、具体的に何人いるのかまでは、申し訳ないが把握していない。酒田市が検定を実施しているのではなく、全国的な組織の中で検定を実施している団体がある。3級はボランティアとは何か、コーディネーションをするためには何が必要か、どんな考え方が必要か等、テキストを見ながら勉強していく。2級は技能の部分はかなり影響していると聞いている。酒田では公益大でいろいろと準備等をしているが、教授もこの資格を取得しており、2級はかなり大変だったと聞いている。テキストの勉強だけでは難しいと認識している。

会長：公益大で受託し、実施して10年近くなる。庄内の方々を対象とし、学生も受験しておりかなりの人数になる。2級はかなり難しく、会場も勝手に選べず東京等に行かないと受験できない。3級は入口ということで、酒田市や鶴岡市等からご協力をいただきながら、続けさせていただいている。人数につ

いては、申し訳ないが、私も質問を受けると思わず調べてこなかった。

委員：思いつきの質問をして、ご迷惑をかけたかもしれない。酒田市職員のボランティアの参加率が低いことから、この検定を活用すれば、アクションプランも着実に進んでいくのではないかと思うが。

課長：地域共創コーディネーターの資格は、まちづくり推進課に限らず、事業でワークショップ等を行う他課の職員も積極的に受けるようになってきている。また、自治会の方々も受講しており、そういった方々が着実に増えることによって、市全体のボランティア力も向上するのではないかと思う。

委員：市職員は公益活動を率先してやっているというところも含め、今まではこうだったが、これからはこれを目指すというようにした方が、実際のアクションプランの成果につながると思う。もう少し具体的な詰めをお願いしたい。

事務局：基本的にはアクションプランに沿って進めていきたいと説明させていただいた。この事業計画（案）に記載しているものの他、アクションプランの中で従来の補助金や負担金以外にも企業との連携、移住者等との連携、交流会の拡充等を盛り込んでいるが、具体的にはまだ記載されていない状況。どのように取り組んでいくのか、当然事務局で考えていくが、皆さまからもご意見等をいただければと思う。これまでの委員会は、基本的には事務局から議題を出し、ご意見をいただくことが多かったが、もう少しざっくばらんに、ワークショップのような形式でご意見をいただけるような場の持ち方をしたいと考えており、その際には皆さまにもご協力いただければと思う。

会長：委員会はどうしても決まっている議題があり、特に審査会に時間を取られてしまう。年度末の第3回は、皆さまからご意見等をいただけたように思う。私も同じ意見で、委員会の実感があまりないということにならないよう、企業の連携や先ほど富士副会長からもあったように、交流会のテーマや進め方等について、意見交換の場にできればいいなと思う。あまり時間は取れないし、急な話で今すぐには浮かばないかもしれないが、今ご提案があればいただきたいし、委員会終了後にまちづくり推進課に言っていただいてもいいかなと思う。

委員：大賛成。私も何年かこの場に座らせてもらっているが、ただ進めてご意見等はあるかではなく、もう1回か2回委員会を増やし、話し合いのために集ま

るということも必要ではないかと思う。行政側からこのような意見が出ているということはすばらしいと思う。

会 長：以前、公益活動支援センターとボランティアセンターの委員会は別々に開催していたので、公益活動支援センターは審査が多く、ボランティアセンターは話し合う時間があったように思う。今は一緒になったので、委員会数を増やすということも含め、事務局でご検討いただくことになるかと思う。皆さまお忙しいが、力強い、心強い賛成意見もあったので、ご検討いただくようよろしくお願いいたします。

5 その他 (特になし)

6 閉会